

## 第46回： 水環境における水質基準の最新動向と展望

開催日：2003年7月16日（水）／会場：「国立保健医療科学院 白金庁舎講堂」東京都

開催趣旨： 近年、内分泌攪乱化学物質やダイオキシンをはじめとした各種化学物質の環境汚染や生態系への影響、クリプトスポリジウムなどによる感染症、消毒副生成物など新たな問題が顕在化し、大きな社会問題となっています。このような状況を踏まえて、環境省と厚生労働省において各々環境基準と水道水質基準の見直し、策定作業が進められています。

本セミナーでは、環境基準（健康項目、生活環境保全項目）と水道水質基準の見直しの経緯、概要、および今後の展望に関するセミナーを企画しました。水環境における水質基準の最新動向と展望に関して最新の情報が得られる機会ですので、多数の方のご参加をお待ちしております。

講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 水生生物保全環境基準策定の背景と今後の展望（須藤隆一／埼玉県環境科学国際センター総長）
- 水質環境基準の動向と展望（瀬川恵子／環境省水環境部水環境管理課）
- WHO新飲料水水質ガイドラインと改正水質基準の経緯と今後の展望（眞柄泰基／北海道大学大学院工学研究科教授）
- 水質基準の見直し等について（松田和久／厚生労働省健康局水道課水道水質管理室）